



令和 5年 3月 16日 14時 00分
近畿地方整備局 浪速国道事務所

沿線の3つのニュータウンで住宅開発、企業進出が進展 ～ 一般国道26号 ^{はんわこくどう} 第二阪和国道・^{わかやまみさき} 和歌山岬道路の整備効果 ～

平成29年4月1日に全線開通（暫定2車線）した第二阪和国道・和歌山岬道路が開通から5年経過しました。

この度、開通後の整備効果をとりとまとめましたので、お知らせします。

■開通による整備効果

○開通後の交通状況変化

- ・並行する和歌山阪南線（旧国道26号）の交通が転換⇒交通量が最大7割減少
- ・和歌山市内から関西国際空港までの所要時間が84分⇒52分に短縮

○沿線地域の住宅開発、企業進出の進展に貢献

- ・両道路の延伸に伴い、沿線の3つのニュータウンで住宅開発、企業進出が進展
- ・平井ランプ周辺（ふじと台地区）では、第二阪和国道で最初の部分開通時と比較して住宅契約戸数が約18倍に増加
- ・箱作ランプ周辺（阪南スカイタウン）では、全線開通後に新たに5社の企業が進出

○物流の定時性向上

- ・大阪府と和歌山県間の輸送時間の定時性向上により、ドライバーの負担軽減、運行の安全性向上に寄与

所要時間のばらつき：【開通前】16分⇒【開通後】12分

○災害時の代替路としての機能の発揮

- ・並行する阪和自動車道の通行止め時には、第二阪和国道が府県間を結ぶ代替路としての機能を発揮

■事業完了後の課題への対応

- ・開通後に発生した隣接交差点の渋滞に対して令和4年11月に左折レーン延伸等の交差点改良を実施

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 大阪府政記者会
和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ

<問合せ先>

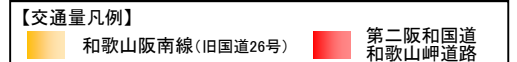
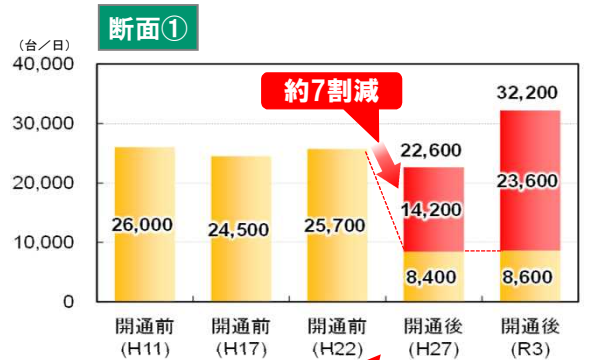
国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所
副 所 長 竹井 宏和（たけい ひろかず）
計 画 課 長 大森 功一（おおもり こういち）
電 話 06-6581-1802（代表）

開通後の交通状況変化

- 並行する和歌山阪南線(旧国道26号)から、第二阪和国道・和歌山岬道路に交通が大きく転換⇒**交通量が6~7割減少。**
- 交通の分散により、交通混雑が緩和され**関西国際空港と和歌山市役所間の所要時間が84分⇒52分に短縮**する等、地域間の連携が強化。

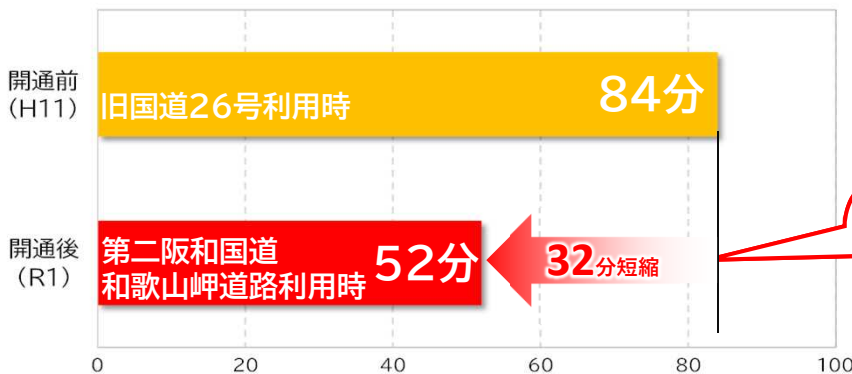


■開通に伴う交通量の変化



出典：交通量算出
各年の全国道路・街路交通情勢調査の値を採用。
ただし、開通後(R3)は浪速国道事務所調査結果R3.9.14(火)
R3のグラフの数値のうち、12時間観測箇所は調査日の7～19時の12時間観測交通量にH27センサスの昼夜率(平日)を乗じて日交通量に換算。

■関西国際空港～和歌山市役所の所要時間の変化



第二阪和・和歌山岬道路利用で32分短縮

出典：所要時間算出
(開通前) H11全国道路・街路交通情勢調査(混雑時)
(開通後) ETC2.0プローブデータ 2019年9～11月平日(混雑時)

沿線地域の住宅開発、企業進出の進展に貢献

- 両道路の延伸に伴い、沿線の3つのニュータウンで住宅開発、企業進出が進展。
- 平井ランプ周辺(ふじと台地区)では、第二阪和国道で最初の部分開通時と比較して住宅契約戸数が約18倍に増加。箱作ランプ周辺(阪南スカイタウン)では約2倍、箱ノ浦ランプ周辺(リフレ岬)では約5倍の人口増。
- 箱作ランプ周辺(阪南スカイタウン)では、全線開通後に新たに5社の企業が進出し、21社が操業中。

箱ノ浦ランプ周辺【リフレ岬】



人口の推移
283人(H15)→1,307人(R4)

約5倍！！

箱作ランプ周辺【阪南スカイタウン】



人口の推移
2,791人(H15)→4,624人(R4)

約2倍！！

【産業用地】
H7年分譲開始
21社操業中

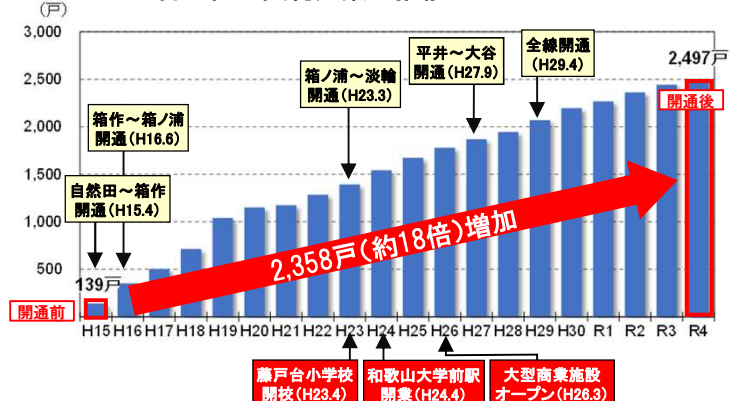
全線開通後
新たに
5社進出

- 凡例
- 第二阪和国道
 - 和歌山岬道路
 - 【その他の道路】
 - 和歌山阪南線
 - 高速道路
 - 直轄国道
 - 主要地方道
 - 一般府県道

平井ランプ周辺【ふじと台地区】



▼ふじと台の住宅契約戸数の推移



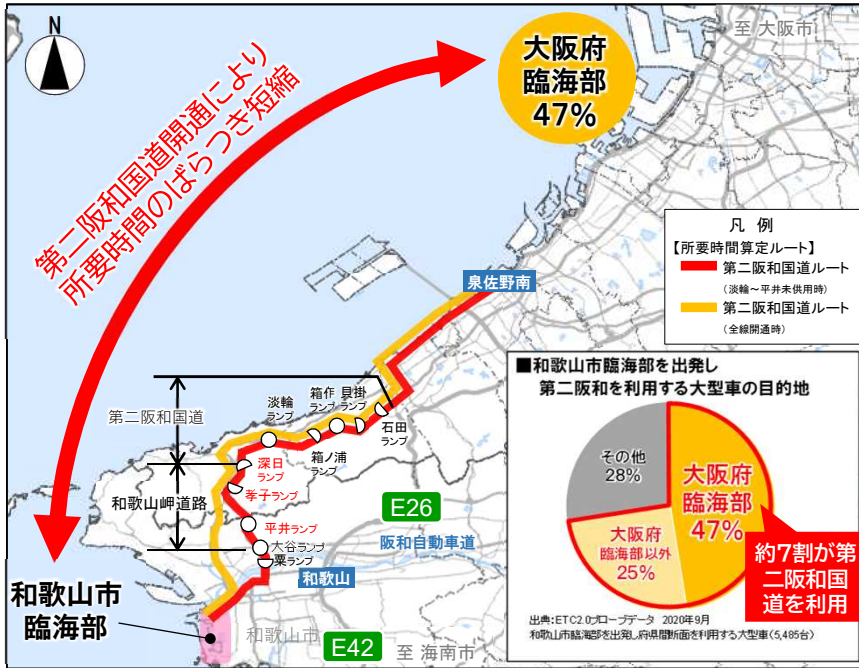
◎住宅販売会社(ふじと台地区)

- ・ 開通前は和歌山市内の購入希望者が中心でしたが、開通後は泉南エリアの居住者も購入を希望される方が増えたと思います。
- ・ 第二阪和国道の開通による泉南エリアや和歌山市へのアクセス性が住宅購入の理由の一つになっていると思われます。



物流の定時性向上

- 工場が多く立地する和歌山市臨海部から県外に向かう大型車の約5割は大阪府臨海部が目的地。その内、約7割が第二阪和国道を利用。
- 所要時間のばらつき短縮により定時性の向上が図られ、**ドライバーの負担軽減、運行の安全性向上に寄与。**



※大阪府臨海部
大阪府住之江区・此花区・港区・西淀川区、堺市堺区・西区、泉大津市、高石市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市

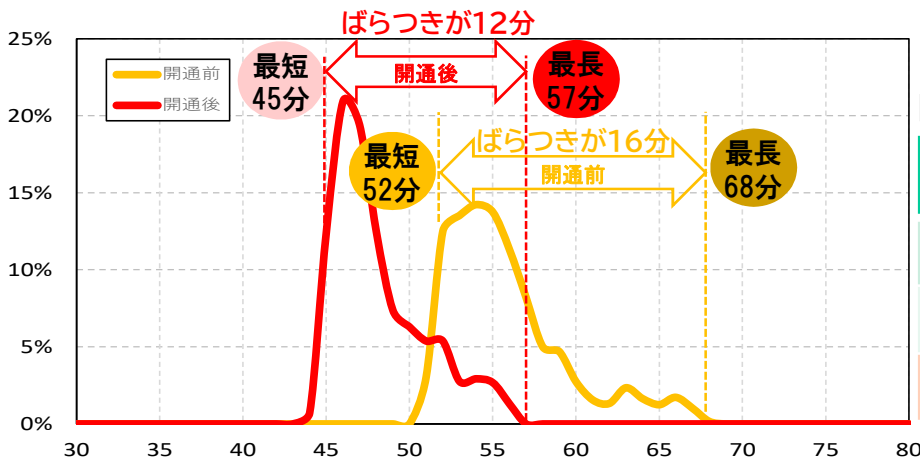
◎和歌山市内の運輸業者の声

- ・開通後は、第二阪和国道を利用することにより開通前に見込んでいた**渋滞回避の時間を見込む必要がなくなった**。
- ・**運転時間の減少による負担軽減**だけでなく、**ドライバーの休憩時間の取得や余裕をもった運行が可能**となり、**運行の安全性向上につながっている。**



出典:運輸事業者ヒアリング調査結果より

■和歌山市臨海部～泉佐野南ランプの所要時間の分布



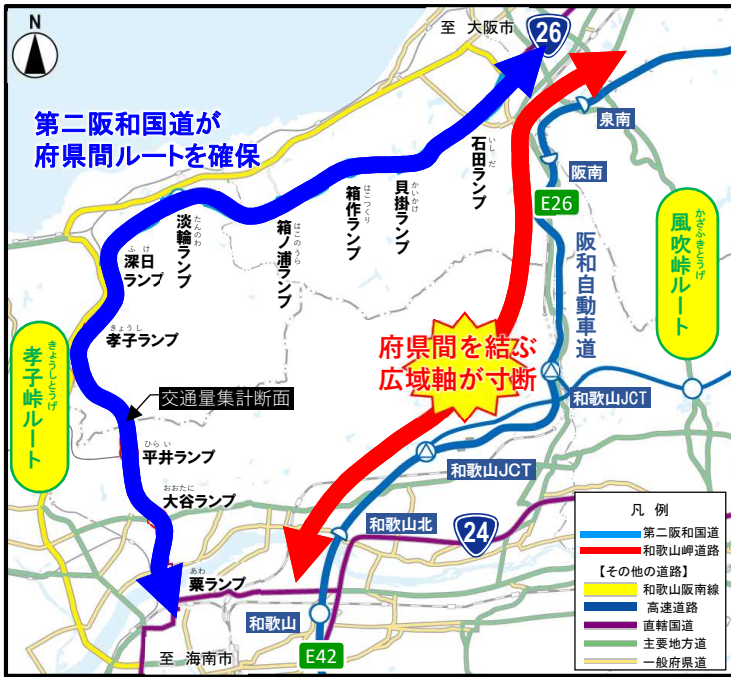
■所要時間の変化

	最短時間	最長時間	ばらつき
開通前	52分	68分	16分
開通後	45分	57分	12分
短縮効果	7分	11分	4分

出典:(開通前) 民間プローブデータ 2016年9～11月平日
※2012年以前のプローブデータが無い場合、開通前を2016年データとして整理。よって、自然田～淡輪ランプは開通済みの状況)
(開通後) ETC2.0プローブデータ 2021年9～11月平日
昼間12時間の時間帯別ルート所要時間を算定
※ルート所要時間は地図上のルートの各DRMリンクの時間帯別平均所要時間を同時刻総和法の積み上げて算定。
※グラフは上下5%を棄却した上で作成。

災害時の代替路としての機能の発揮

- 第二阪和国道の開通後に、並行する阪和自動車道では計8回(延べ27時間)の通行止めが発生。
- 阪和自動車道の通行止め時には、第二阪和国道が府県間を結ぶ代替路として機能を発揮し、交通量が2倍に増加。**



■阪和自動車道(泉南IC～和歌山IC)の事故通行止め状況(H29.4～R3.9)

全線開通後に阪和自動車道で8回(延べ27時間)の通行止め

通行止め区間	方向	発生日時 解除日時	通行止時間
泉南IC～和歌山IC	下り	2017/6/21 7:47	2:43
		2017/6/21 10:30	
和歌山IC～泉南IC	上り	2017/10/29 20:25	1:40
		2017/10/29 22:05	
泉南IC～和歌山JCT	下り	2017/12/11 9:45	4:40
		2017/12/11 14:25	
和歌山IC～泉南IC	上り	2019/1/23 7:38	3:42
		2019/1/23 11:20	
泉南IC～和歌山JCT	下り	2019/11/11 8:33	3:07
		2019/11/11 11:40	
泉南IC～阪南IC	下り	2020/2/11 11:45	3:00
		2020/2/11 14:45	
阪南IC～泉南IC	上り	2021/3/14 17:49	3:26
		2021/3/14 21:15	
泉佐野JCT～阪南IC	下り	2021/7/21 16:45	4:42
		2021/7/21 21:27	
延べ規制時間			27:00

出典：NEXCO西日本提供

◎和歌山市内のバス会社の声

- 当社は、空港リムジンバスを共同運行も含めて阪和自動車道を1日13便(6.5往復)運行しています。
- 阪和自動車道が事故通行止めの際は状況に応じて**第二阪和国道ルート**や**孝子峠ルート**・**風吹峠ルート**を迂回路として利用しました。
- 府県間の**選択肢が1本でも増えた**ことは運休や大幅な遅延を避けることができ、お客様を輸送をする上で非常に助かっております。

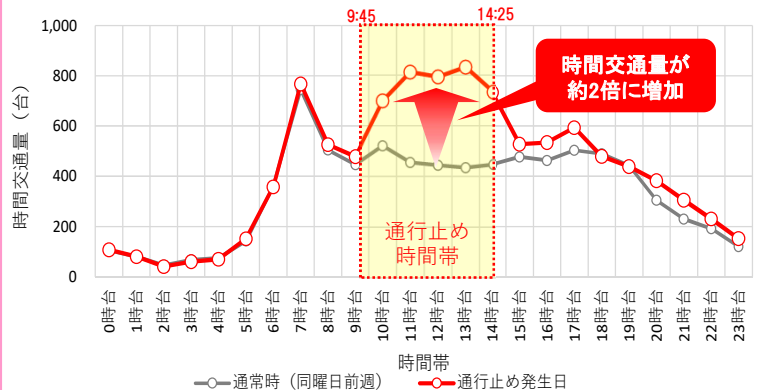


出典：運輸事業者ヒアリング調査結果より

■事故通行止め発生時の第二阪和国道の交通量の変化

阪和自動車道の通行止め時間帯に交通量が大幅に増加

2017/12/11(月曜日) 下り方向 通行止め時間: 4時間40分



使用データ：トラコン交通量(平井北)

事業完了後の課題への対応

- 第二阪和国道開通により府県間交通が円滑になった一方で、交通量が増えたことから、当該事業区間外に隣接する幡代北交差点の大阪方面向き交通で混雑が発生。
- 幡代北交差点では、左折車両が集中することにより、交通の流れを悪化させていたことから、渋滞対策として令和4年11月に左折レーン延伸等の交差点改良を実施。

■ 第二阪和国道と幡代北交差点の位置図



■ 幡代北交差点周辺の朝ピーク時の旅行速度

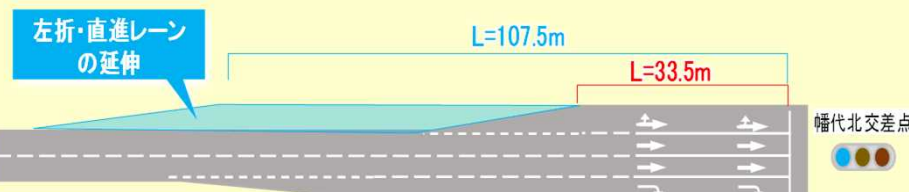


■ 幡代北交差点の朝ピーク時の渋滞状況 (R2.10.13)



幡代北交差点の改良工事

左折レーンの延伸工事



一般国道26号 第二阪和国道・和歌山岬道路の概要

一般国道26号は、大阪府大阪市から和歌山県和歌山市を結ぶ延長66kmの主要幹線道路であり、このうち、大阪府阪南市から和歌山県和歌山市に至る区間は、高規格道路として整備。

「第二阪和国道」、「和歌山岬道路」はその一部を形成し、旧国道26号(和歌山阪南線)の交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時等の代替路の確保等を目的とした大阪府阪南市自然田～和歌山県和歌山市大谷に至る延長18.4kmの道路であり、平成29年4月1日に暫定2車線で全線開通しました。

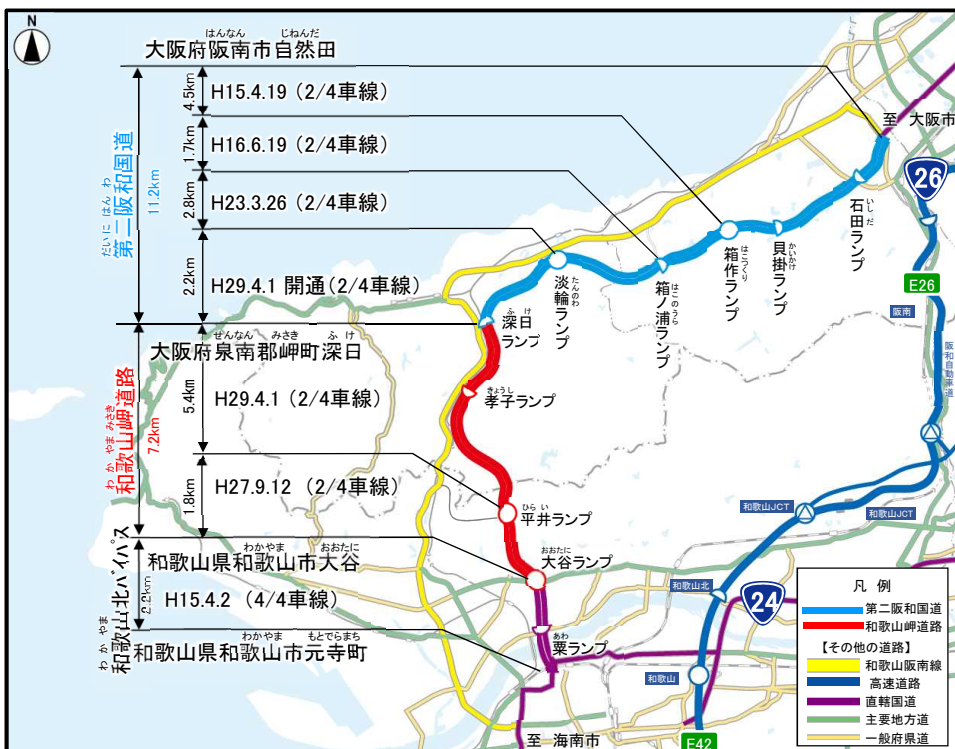
広域図



事業の概要

区間	【第二阪和国道】 (起)大阪府阪南市自然田 (終)大阪府泉南郡岬町深日	【和歌山岬道路】 (起)大阪府泉南郡岬町深日 (終)和歌山県和歌山市大谷
道路延長	11.2km	7.2km
車線数	本線4車線(側道2車線)	4車線
標準幅員	20.5m(土工部)、40.0m(高架部)	20.5m
事業化	昭和63年度(阪南市自然田～岬町淡輪) 平成17年度(岬町淡輪～岬町深日)	平成19年度
用地着手	平成5年度	平成23年度
工事着手	平成8年度	平成23年度
開通	平成15年4月19日:自然田～箱作ランプ 平成16年6月19日:箱作ランプ～箱ノ浦ランプ 平成23年3月26日:箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ 平成29年4月1日:淡輪ランプ～深日ランプ 上記全てで暫定2車線開通	平成27年9月12日:平井ランプ～大谷ランプ 平成29年4月1日:淡輪ランプ～平井ランプ 上記全てで暫定2車線開通

第二阪和国道・和歌山岬道路の路線図



標準断面図 単位:m

